



がい数

がい数のたし算とひき算の文章問題 (8)

年 組 名前

次の問題に答えましょう。

- 1 2023年と2024年の日本の出生数^{しゅっしょうすう}を調べると、
下の表のようになりました。

	出生数 ^{しゅっしょうすう} (人)
2023年	727288
2024年	686061

- ① それぞれの出生数^{しゅっしょうすう}を四捨五入^{し しゃ ご にゅう}して、上から2けたの
がい数にし、約何万人^{やく}と表しましょう。

2023年 (約73万人)

2024年 (約69万人)

- ② 2023年と2024年の出生数^{しゅっしょうすう}のちがいは、約何万人^{やく}
ですか。がい算^{もと}で求めましょう。

$$(式) \quad 73万 - 69万 = 4万$$

(答え) 約4万人

- 2 ある年^{おおい}の大分県の小学生の人数は53456人、
中学生の人数は28716人でした。

- ① 小学生と中学生の人数は約何万何千人^{やく}といえますか。
四捨五入^{し しゃ ご にゅう}して、千の位^{くらい}までのがい数で表しましょう。

小学生 (約53000人)

中学生 (約29000人)

- ② 小学生と中学生を合わせた人数は、約何万何千人^{やく}ですか。
がい算^{もと}で求めましょう。

$$(式) \quad 53000 + 29000 = 82000$$

(答え) 約82000人

- ③ 小学生と中学生ではどちらが約何万何千人^{やく}多いと
いえますか。がい算^{もと}で求めましょう。

$$(式) \quad 53000 - 29000 = 24000$$

(答え) 小学生が約24000人多い